

奈良医大 Nara Medical University newsletter

キャンパスだより

2017
vol.6
秋号

奈良県立医科大学に関する様々な情報を、地域のみなさまにお届けします



写真提供 / 檀原神宮



Topics

- ・新キャンパス整備の現状と今後の予定について
- ・ドクターヘリのヘリポート建設について
- ・健康長寿イベントについて
- ・健康情報 小児センター

イベントなどのお知らせ

- ・奈良県立医科大学 大学祭「白檀生祭」
- ・公開講座

新キャンパス整備の現状と今後の予定を紹介いたします

前号では、キャンパス整備に向け、本学の数十年前のあるべき姿を取りまとめた「奈良県立医科大学の将来像」と、将来像の実現に取り組む場となる新キャンパス・現キャンパスの現時点での整備イメージを紹介しました。両キャンパスの整備は、今後、左図の工程で進めて参ります。

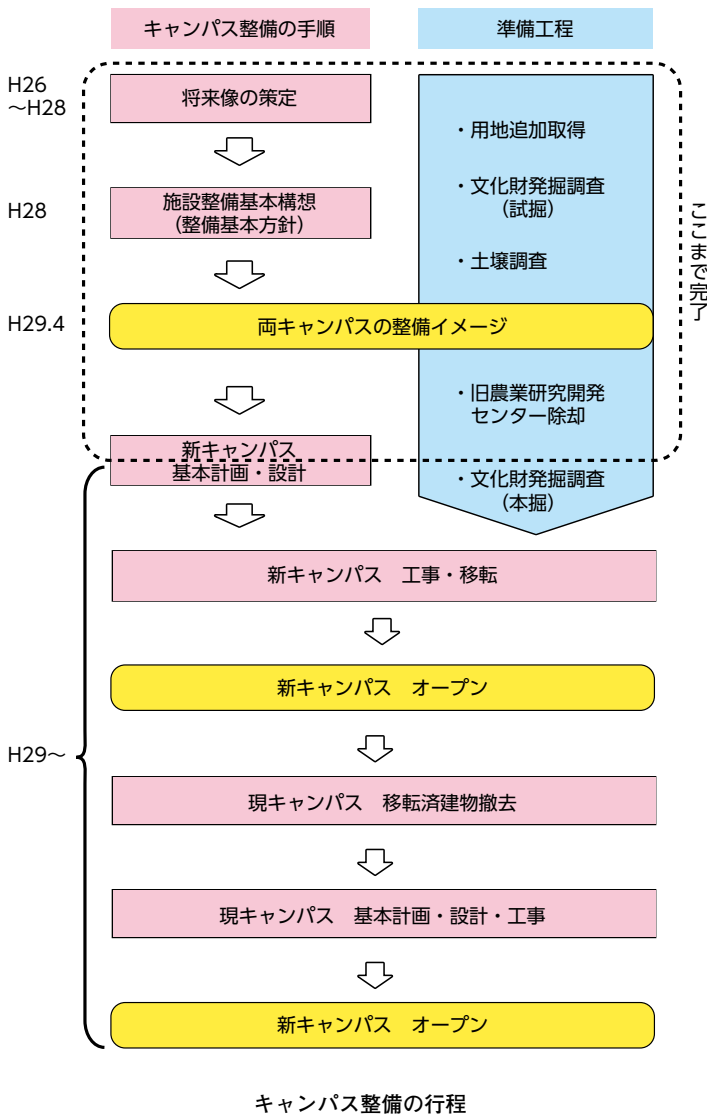
まず、新キャンパスを整備して、教育・研究部門を移転します。

その後、現キャンパスの大和高田バイパス北側では、移転済建物を撤去し、跡地に外来

部門などを集約した新A棟を新駅とのアクセスにも配慮して整備するなど、病院機能の充実を図ります。

また、現キャンパスのバイパス南側は、行政府が行うまちづくりゾーンとしての活用が予定されており、新駅や医大附属病院に隣接するという地の利を生かしたまちづくりの構想が検討されています。

今号では、現在進んでいる新キャンパス整備の現状と今後の予定について、全容をご紹介します。



キャンパス整備の行程



キャンパス配置

現在までの進捗状況

【用地買収】

新キャンパスの敷地は、現キャンパスの南西約1kmに位置する県農業研究開発センターの跡地で、面積は約10畝ありますが、形状が不整形で、当該地区の高さ制限(15m以下)の建築には面積も十分とは言えません。

そこで、平成27年度から県が周辺の用地買収を進めており、土地所有者の皆様のご理解・ご協力を得て、現在までに約2畝を取得しています。

【建設準備工程】

建物建設に向けた準備工程として、これまでに埋蔵文化財発掘調査（試掘）、土壌汚染調査を完了し、建設に支障を来すような結果は認められていません。

また、今年度、近隣住民の皆様のご理解・ご協力の下、進めて参りました旧農業研究開発センター施設の除却工事についても、無事10月中に完了することができました。

この場を借りて、改めて御礼申し上げます。

今後の予定

【基本計画・設計】

新キャンパスは、前号でも紹介したとおり歴史の香漂うここ櫃原の地で、かつての藤原京の中に位置するという歴史的な背景も踏まえ、藤原京

をモチーフとしたゾーニング、デザインを取り入れるとともに、地域に開かれたキャンパスづくりを想定していきます。

現在、建物諸室の内



新キャンパスの整備イメージ

容・規模など具体的な諸元の検討を進めており、それらが決まり次第、建築に向けた設計を行うこととしています。

【用地買収】

合理的・効率的なキャンパス配置のための敷地の整形化、面積確保には、更なる用地買収が必要となります。

【許認可手続】

新キャンパス敷地は、都市計画法の区域区分（市街化調整区域）をはじめ様々な土地利用上の規制を受けているため、行政庁への必要な許認可手続を進めて参ります。



埋蔵文化財発掘調査（試掘）＜ H26～H28 ＞



旧農業研究開発センター除却＜ H29 ＞

【埋蔵文化財発掘調査（本掘）】

新キャンパスの建物の底地となる土地全部について、発掘調査を行う必要があり、事前協議のうえ、文化財保存所管行政庁に調査を実施してもらいます。

【建設工事・移転】

以下の工程を経て、建設工事に着工し、竣工後、現キャンパスから引越をして、新キャンパスのオープンとなります。

以上のとおり、多くの工程が控えておりますが、本学の将来像実現の場となる新キャンパスの完成に向け、教職員一丸となつて取り組んで参りますので、皆様の一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ドクターヘリのヘリポート建設を進めています

本学附属病院B・C棟の屋上にドクターヘリのヘリポートが建設されます。

救急車での患者搬送に時間を要する地域における重篤患者に対応するため、従来の和歌山県及び大阪府との共同運航に加え、平成29年3月から奈良県独自のドクターヘリが導入されました。

このドクターヘリは本学附属病院が運営し、南奈良総合医療センターに常駐しています。両病院の専門医と看護師が待機し、消防などから出動要請を受け出動します。現在、橿原運動公園をランデブーポイント（次頁参照）として患者の受入を行っています。本学にヘリポートを整備することにより、3次救急患者を中心とした、より迅速な受入を行うことが可能になります。

また、ヘリポート整備により、DMAT（大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場で、速やかに活動する医師、看護師、その他の医療職、事務職員で構成された医療チーム）の迅速出動や防災ヘリの受け入れが可能となり、奈良・和歌山・三重3県連携による紀伊半島全域の救急医療および災害医療の充実に図ることが可能となります。



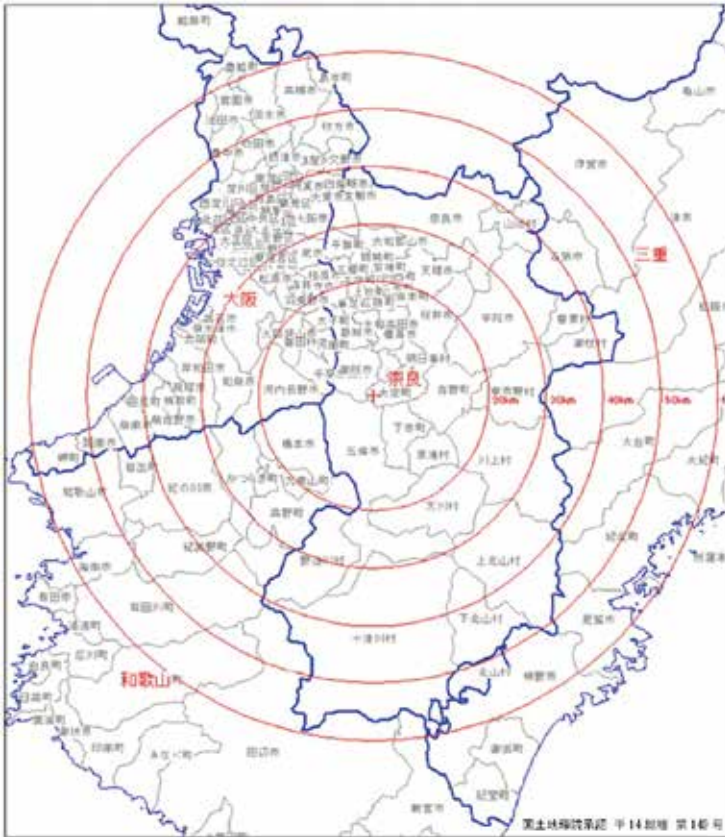
ヘリポートの完成イメージ

ドクターヘリとは…

救急医療用の医療機器などが装備され、救急医療の専門医や看護師が搭乗する専用のヘリコプターです。医師による治療が早く開始でき、患者の救命率の向上や後遺症の軽減などが期待されます。

出動範囲と要請

片道15分以内で全県をカバーし、ドクターヘリの要請は、119番通報を受けた消防機関が患者の重症度を判断して要請します。



出動範囲

奈良県ドクターヘリの運航開始後も、従来より行ってきた三重県、和歌山県及び関西広域連合のドクターヘリの共同利用は継続して実施します。

これにより、奈良県のドクターヘリが出勤中は、他のドクターヘリ出動を要請できるなど、重複要請時にも対応できる体制を整備しています。

ランデブーポイント

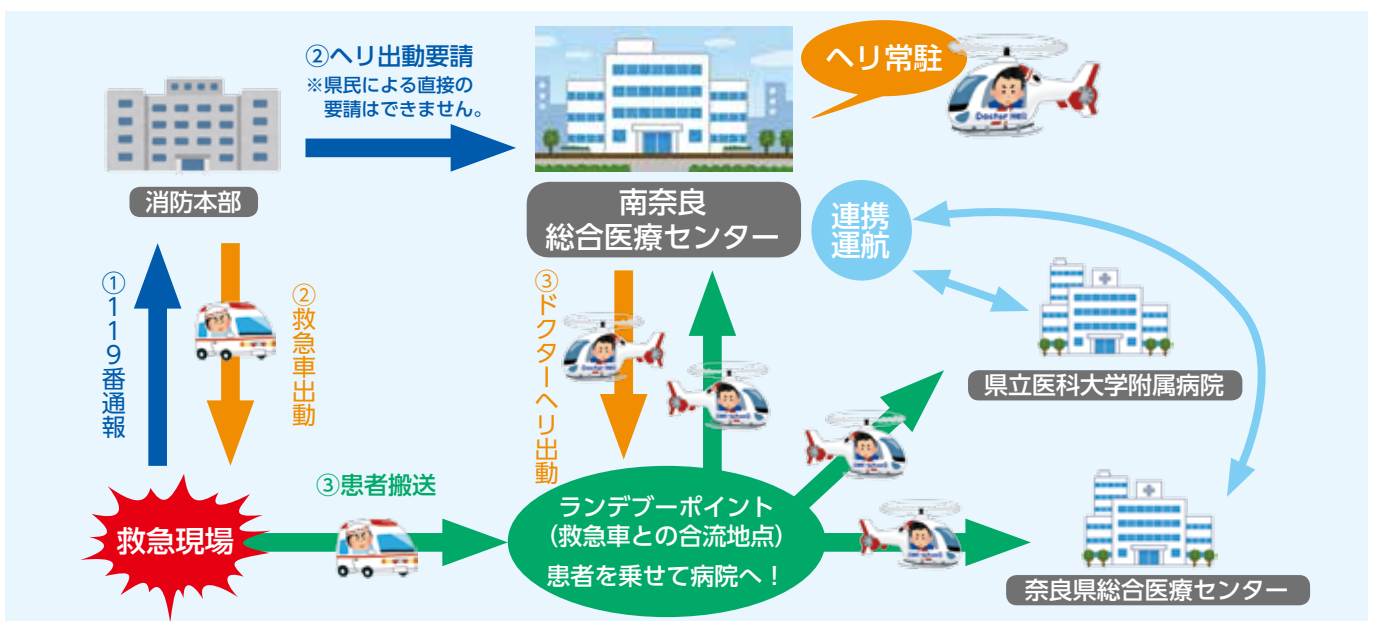
ドクターヘリは原則として、あらかじめ設定したランデブーポイント(学校・公園等)に着陸します。救急現場からランデブーポイントまでは救急車で搬送されます。

搭乗人数

患者さんを最大2名まで搬送することができます。

費用負担

ドクターヘリによる搬送に伴う費用については、患者さんの負担はありません。



『要請』から『出動』までの流れ

奈良医大の地域と連携した取組を紹介します

健康長寿イベントを開催しました

健康長寿とは「日常歴に介護を必要とせず、健康で自立した生活ができる期間」のことです。本学が進めようとしている医学を基礎とするまちづくり（Medicine-based town-MBT）の基礎となるもので、運動・栄養・睡眠・口腔ケア・リラクゼーション・禁煙・社会参加などが重要と考えられています。健康長寿なまちづくりのためには、医療従事者、企業、そして地域住民の方と協力して取り組んでいく必要があります。

そこで、8月12日（土）にならファミリィで奈良県立医科大学健康フェア2017（美と健康、笑いと健康）をテーマに「美しく」「楽しく」そして「健康」になるためのイベント



トを開催し、専門店街 Zorro 1階のらくだ広場と6階の秋篠音楽堂の2か所で実施しました。

健康長寿を紹介するブースとして、奈良医大からは、笑顔測定ブース、美肌チェックブース、アロママッサージブース、栄養と健康ブースなどを出しました。

一方、企業ブースとして、江崎グリコ株式会社 健康科学研究所ブースでは、同社の研究から生まれた商品や研究成果の紹介、ニ



紹介するスタッフ

プロ株式会社ブースでは、体成分分析装置による人体成分の過不足が分かる機器の展示をしていただきました。

また、奈良県健康づくり推進課のブース 出展や同時にプレイベントとして開催している白檀生祭のブースも 出店し、公立大 学法人奈良県立医科大学の公式イメージキャラクター「しょうとくた 医師くん」にも 活躍してもらいました。

約一〇〇〇名の方にご参加いただき、健康長寿につながる体験や簡単な検査をしていただきました。

今後ともこのような活動を通じて地域の方々とともに健康長寿のための活動を展開していきたいと考えています。



アロママッサージの様子



栄養と健康について紹介している様子

小児センター

今年度から掲載している健康情報について、今号は小児センターに関する情報をお届けします。

E棟7階小児センターは、昨春秋、旧病棟から移転しました。病床数は38床で、主に乳児期～15歳までの小児を対象としており、小児疾患に関わる入院を受け入れています。入院される患者の疾患は、血友病、心疾患、腎疾患、てんかん、腫瘍など多岐にわたります。



キッズルーム

小児センターは、現在、奈良県下唯一の24時間体制で高度小児医療を実践する施設となっており、奈良県の小児医療の最後の砦として頑張っています。

私たち医療スタッフは、重篤な症例や緊急入院が多い中、子どもの権利を尊重し、成長発達を促し倫理的な側面に配慮しながら、日々の医療・看護を提供することを目標としています。また、子ども達を取り巻く多職種との連携も大切に行っています。

例えば、重症心身障害をもつ子どもたちの家族が自宅への退院を希望した場合、人工呼吸器



小児センターの様子

を装着した状態で自宅へ帰ることになります。

そのため、自宅への退院を支援するため、訪問看護師、地域保健センターや市役所担当者、養護学校教諭と密に連絡や情報共有を行うなど、自宅への退院に向けた取り組みを行うことにより、安心して退院いただくようにしています。

さらに、まだ実施回数は少ないですが退院前後の自宅訪問を小児専門看護師、病棟スタッフ、地域の訪問看護師と3者で行い、在宅療養が可能な対策を行う取り組みを開始しています。

最後に、新病棟の壁紙には、ホスピタルアート（病院の雰囲気や温かなものにし、患者の心を癒す効果が期待できる）を導入しました。これは医療スタッフ全員で、子どもたちへの思いを寄せて描いたものです。そんな子どもたちのことが大好きなスタッフが、毎日笑顔



小児センターの通路に描かれたホスピタルアート

2017年奈良県立医科大学大学祭 白檀生祭 「Break the Wall ~ Build the Bridge ~」

日時：11/4(土)、5(日) 両日とも9:00～18:00

地域の方々に、より医療を身近に感じてもらったうえで、楽しんでいただける企画が盛りだくさんです！



白檀生祭オリジナルキャラクター『しょうとくた医師』くん！
本学祭ならびに奈良医大の公式キャラクター。
白檀生祭のそこかしこであなたをお迎えしま“すいこ”！

【その他企画も盛りだくさん！！】

○シンポジウム

場所：本学大講堂
日程：11/4(土)

○なら・かしはらグルメフェア

出店店舗：
お食事処やくぜん(11/5のみ)、
炙り鯛だしらーめん・つけ麺サクラ、
お好み焼きはないちもんめ、
珈琲亭、餃子ダイニングホワイトハウス、
奈良医大弘済会

○出張！今井町衆市！

恒例となった今井町とのコラボ企画。
今年もたくさんの出店を予定！

問い合わせ

奈良医大教育支援課
TEL：0744-22-3051(内線：2214・2390)



よしもお笑いライブ！

場所：大講堂前屋外特設ステージ
11/5(日) 17:00～



ステージ企画

11/5(日) 13:00～
吉田孝義先生のトークショーあります！

公開講座

奈良県立医科大学公開講座「くらしと医学」

平成30年2月11日(日) 13:00～15:30(予定) 奈良県文化会館

本学では、広く県民の皆様を対象に、健康の維持・増進や日々のくらしに役立てていただくことを目的として、「くらしと医学」をテーマにした公開講座を年2回開催しています。本学教員が、日頃の研究成果や病気につながる話題等をわかりやすく解説します。

※講演内容等詳細が決まり次第、下記HPにてお知らせいたします。

問い合わせ

事前申し込み不要(当日受付)
奈良医大総務課 TEL：0744-22-3051(内線：2206・2297)

〈これまでの講演テーマ〉

「認知症予防」、「脳卒中予防・早期発見」、
「更年期障害」、「がん化学療法」、
「がん検診」、「食事とがん」、
「食品の安全」、「健康・長寿の秘訣」など

〈公開講座等紹介ホームページ〉 <http://www.narmed-u.ac.jp/university/gaiyo/kokaikoza/index.html>

上記以外にも、ご参加いただける公開講座等の情報を随時掲載していますので、ぜひご覧ください。

「奈良医大キャンパスだより」の内容に関する問い合わせやご意見等ございましたら、右記までご連絡ください。

公立大学法人奈良県立医科大学 総合企画局 総合企画室
〒634-8521 奈良県橿原市四条町 840
TEL 0744-22-3051(内線 2803, 2804)
Mail kihonkoso@narmed-u.ac.jp